拡大版でお届けします

あんなコト こんなコト アラカルト

夏のイベントてんこもり

白球を追いかけて！ 中学校最後の夏

多古中学校の生徒６名が加入している成田シニア野球チームが、８月に宮崎県で開催される「東アジアリトルシニア野球宮崎大会 2014」へ出場し、熱戦を繰り広げました。

中学校の部活動では軟式ボールを使用するため、硬式ボールでのプレーを希望するには、保護者らが運営するリトルシニアチームに加入する必要がありますが、多古町にはこのチームが無いため、成田市や匝瑳市など近隣のチームでプレーしているのが現状です。

今年の春に開催された読売新聞社杯兼日本リトルシニア野球千葉県大会で３位の成績を収めたことが評価され、東関東連盟から推薦を受けて今回の宮崎大会への出場が決定しました。スターティングメンバーとして出場できるのは多古中学校生６名のうち３年生の３名だけ。高校に進学しても野球を続けるつもりだという３名にとっては、宮崎大会が中学校生活で最後の大会となります。大会前にこの３名を取材しました。

◀

「大会への意気込みを聞きました」

▲写真左から

作田勇大（さくた ゆうだい） 選手（ショート）
千葉県代表なので、頂点目指して一戦一戦全員野球で頑張りたい！

原　晃大（はら こうだい） 選手（ファースト）
ホームラン打ってきます！

幡谷太哉（はた や だい や） 選手（ピッチャー）
一つでも多く勝って優勝したいです！

水田の有効活用に向けた取組として

次々とロールにされる稲

酪農を営む柳下さん

農業委員会と酪農組合、水稲農家の３者が協力して昨年12月より始まった水田の耕作放棄地を有効活用する取組。今年の４月に作付けした飼料用稲の刈取作業が８月７日に行われました。県の補助金を活用して「多古町粗飼料生産組合」が共同購入した専用の機械が次々と稲をロール状にしていきます。

この取組は、畜産農家の側からは値段が高い輸入飼料に頼らず自給飼料を確保し、経費の削減を図ろうというものであり、稲作農家の側からは稲を家畜の飼料に向けることにより、米の生産調整を円滑に進めようというものです。

「刈り取った稲は、約２カ月後にはサイレージとして使えるようになる。稲は、繊維質が豊富で飼料としても適しているが、より質の良い飼料にするため、ロール状にする際、乳酸菌を混入するとともに、なるべく空気に触れないように気密性の高いラッピング素材を使うなどの工夫もしている。今回の取り組みでは、圃場もまとまっているし、昨年行った再生作業によって水はけがよくなり、刈取作業も効率的に進む。我々酪農家にとって、この取り組みは経費の面で大変助かるので、米を作っている方で、諸所の問題により今後はもう続けられないという場合は、条件が合えばこのようなやり方もあるのではないか」と、柳下さんは話します。

あっぱれもんに拍手！

小学生

■茨城県空手道選手権大会	
小学３年男子個人　形の部 ６位　飯田滉盛（常磐小）	全国大会出場
■香取郡香取市小学校水泳大会	
優勝	男子 50m 平泳ぎ　越川太陽（第一小）
〃	男子 75m 個人メドレー 越川太陽（第一小）
２位	女子 100m 背泳ぎ　佐藤陽香（第一小）
〃	男子 150m メドレーリレー　第一小 五木田七星、越川太陽、伊藤公亮
〃	男子総合　第一小
〃	女子総合　第一小
〃	男女総合　第一小
３位	男子 50m 背泳ぎ　五木田七星（第一小）
〃	男子 50m 自由形　橋爪裕司（中村小）
〃	男子 75m 個人メドレー 五木田七星（第一小）
〃	男子 100m 自由形　幸島一世（第一小）
〃	女子 100m 平泳ぎ　並木湖夢（第一小）
〃	男子 150m メドレーリレー　中村小 橋爪裕司、押田悠都、佐藤拓海
〃	女子 150m メドレーリレー　第一小 佐藤陽香、並木湖夢、椎名りお
〃	女子 200m リレー　第一小 鈴木紗矢香、椎名愛莉、大矢朱莉、菅澤侑良
■香取スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	
優勝	男子　多古 MBC
■成田空港周辺児童書道・絵画展	
金賞	絵画の部　飯田莉央（常磐小）
銅賞	書道の部　杉浦志麻（第一小）
佳作	絵画の部　津島伊月（常磐小）
〃	書道の部　越川浬（久賀小）
〃	〃　津島伊月（常磐小）
〃	〃　並木湖夢（第一小）
■千葉県小・中・高校席書大会	
千葉日報社賞	野平芽依（常磐小）

中学生

■多古カップ中学生・高校生ゴルフ大会	
優勝	中学生の部　女子個人　中谷鈴音
３位	〃　平山光優
■日本水郷杯中学校ソフトテニス大会	
優勝	男子個人　田口直弥・小川稜真ペア

町長日誌（８月１日～31日）

１日	春秋航空日本　成田＝高松・広島・佐賀線就航セレモニー（成田市）
	千葉県経営者協会講演会（成田市）
３日	消防団夏季訓練
４日	成田国際空港周辺農産物輸出協議会農林水産省への要望活動（東京都）
５日	芝山鉄道利用者駐車場管理運営協議会総会（芝山町）
	女性ネットワークこだま会防災ボランティア講習会
７日	県下一斉食中毒予防パレード出迎え
８日	匝瑳市ほか二町環境衛生組合議会定例会（匝瑳市）
12日	いきいきフェスタ TAKO2014 幹事会

Hello how are you?　I am fine and you?

夏休みの間、小学生1・2年生を対象に全4回「キッズ英語教室」が開かれ、10名の子どもたちが英語を学びました。

この教室は、普段各学校で英語の授業をしている外国人講師に依頼し、夏休みの間も英語に触れてもらおうというものです。

あいさつの仕方や時間の言い方、買い物の際のやり取りの仕方などについて遊びや音楽、おもちゃなどを取り入れ、楽しみながら英会話を学びました。講師のグレイスさんはすべて英語で話しますが、4回目ともなると子どもたちも慣れてきたようで、スムーズに会話をする子も見受けられました。参加した女の子は「すごくおもしろかった～!!」と感想を話してくれました。

初めての常磐フェスタ

真夏とは思えないような肌寒さとなった８月16日・17日の２日間、常磐地区青少年相談員と子ども会による常磐フェスタが、常磐小学校で開催されました。昨年まで常磐ギネスを行っていましたが、今年は変えていこうと元青少年相談員の方たちの力も借りてこの日のために企画を考えてきました。今回の企画について会長代理の飯田さんは「常磐小の子どもたちの数が少なくなり寂しくなりました。地域を盛り上げるためにも最初の一歩として流しそうめんや肝試し、４年～６年生の希望者は体育館でお泊りもできるなど子どもたちが楽しめるものを企画しました。将来は規模を大きくして子どもからお年寄りまで常磐全体のお祭りになればと思っています」と話してくれました。この日を楽しみにしていた子どもたち。夕飯の流しそうめんが食べ終わった後は地図を見ながらチェックポイントを回る肝試しと夏の夜を満喫した日になりました。

月一回のお楽しみ

暑さが戻ってきた8月19日、水戸共同利用施設で高齢者の集まり“水戸地区ほっとサロン”が催されました。このサロンは、わぁーかちぃーとで行われている「いきいき元気塾」で習った体操を地区の人にも広めようと周りの人に声をかけたのがきっかけで、毎回25、26名が集まるほどとなりました。代表の鈴木さんは「年寄りの集まりがないのでこれを行事として月1回やっていこうと話し合いを重ねて昨年計画し、区に相談したところ認められて今年予算をつけていただけました。家でだんまりしているよりもここに来てみんなで話をした方が気晴らしになるし、体操や歌のほかにもいろいろやってみようと今日は栄養についての講演をやるんですよ」と話してくれました。毎月第3火曜日に開かれるサロン。すっかりみんなの“元気の素”になっているようです。